

小鳥の森で観察してみよう 7

ヤマガラ

分類：シジュウカラ科

大きさ：体長 14cm

生態：北海道から沖縄まですんでいます。

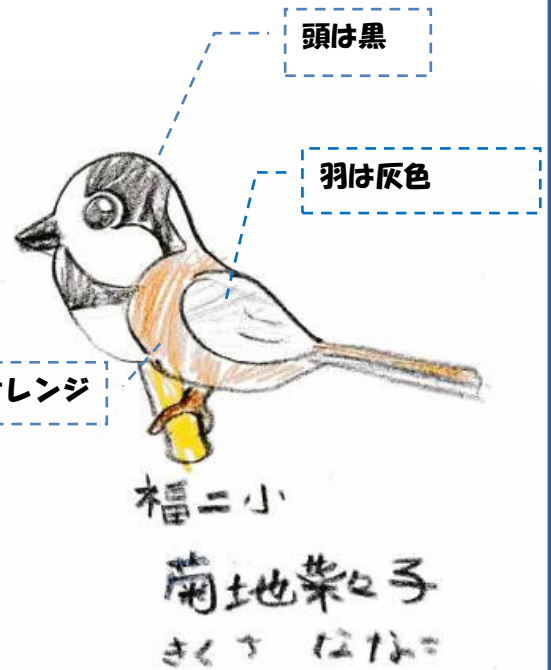
「ツーツーピー」とゆっくりと鳴きます。

秋から冬にかけては色々な鳥と混群を作って群れで行動します。

小鳥の森での観察：

一年中小鳥の森で観察できます（留鳥）

12月頃は給餌台ではヒマワリの種を1つくわえてはどこかに隠しに行ったり、くちばしでつついて食べたりしている姿を観察できます。



今回のイラストはさくちななこさんが描きました。

11月の自然

11月上旬の給餌台にはシジュウカラやヤマガラなどが集まってきていましたが、シメやアトリ、マヒワといった冬鳥の姿を確認することはできませんでした。

10月30日に「ヒッ・ヒッ・ヒッ」と鳴き声が聞こえ、冬鳥のジョウビタキを確認しました。15日にはあわ畑周辺に4、5羽でいるカシラダカの集団を確認し、やっと冬鳥の情報が入ってくるようになりました。例年より暖かな日が多いためか、冬鳥もまだ少ないようです。

15日、吾妻山に雪が積もり小鳥森から見える吾妻小富士も雪化粧。寒さとともに冬鳥の初確認も増えていきます。



レンジャーだより(いがらしレンジャーより)

くちばし観察のすすめ

小鳥の森の給餌台も少しずつ賑やかになってくるこの時期は野鳥をじっくり観察するには最適な季節です。

給餌台にはヒマワリのタネを置いています。シメやカワラヒワなどは給餌台に居すわりタネを食べます。ヤマガラやシジュウカラなどはタネを一つ取ってはどこかへ飛んで行ってしまいます。

また、近くにある親水公園に集まって来るカモの仲間では、水面に浮いているものを食べているカモもいれば、潜ってエサをとるカモもいます。

そのような行動の違いはどうやら“くちばし”の形にあるようです。くちばしの形とエサや、食べ方などの行動の違いに注目すると意外な発見があるかもしれませんよ。

小鳥の森ボランティア講座を開催しました

11月19日(土)に『小鳥の森ボランティア講座』を開催しました。
テーマは「木工クラフトの指導法」。ノコギリなどクラフトで使用する道具の使い方の説明を受け、実際に作品も作りました。完成した作品は出前授業の見本として使う予定です。参加者の皆さんは楽しみながら作っていました。



道具の使い方講習



参加者が作成した作品。どれも力作です。



※小鳥の森では福島市内の学校や学習センターなどに出向き、木工クラフトなどの出前講座を実施しています。詳細は小鳥の森ネイチャーセンターまでお問い合わせください。

室内向けのプログラムをご用意しています。

今年は放射線の影響があり、外で遊ぶことが制限されています。そこで、小鳥の森では室内でも楽しめるプログラムをご用意しました。また、これからの季節は給餌台に集まる野鳥を室内から観察することもできますので、ぜひ小鳥の森のネイチャーセンター内で楽しんでみてください。

室内向けプログラム

・野鳥のぬり絵 & カンバッチ作成

野鳥のかわいいイラストのぬり絵やカンバッチを作ります。

(ぬり絵：無料 ・カンバッチ：1個 100円)

・紙とんぼ作り

紙でできている竹とんぼを作ります。室内でも安心して飛ばすことができますのでおすすめです。小さなお子さんでも簡単に作ることができます。(1個：50円)

・木工クラフト

どんぐりやまつぼっくりなどを使ってかわいい動物や昆虫などを作ります。

県外や会津地方から取り寄せた材料を準備しています。

団体でのご利用の場合は事前にご連絡ください。(無料)



*** 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
福島市小鳥の森のホームページをご覧ください。**

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2011年12月No.318/企画・発行：福島市小鳥の森/(公財)日本野鳥の会・サンクチュアリ室